

高等部学部研究 まとめ

令和7年2月5日（水）

第3回全体研究会

高等部研究テーマ

卒業までに身に付けさせたい
情報活用能力の整理

今年度の研究目標

(1) 身につけさせたい情報活用能力について、授業の単元計画の中で扱う内容を検討し、授業づくりを行い、情報活用能力を育成するための手立てを検討する。

(2) 授業実践後に手立てや目標について適切であったかどうかを検討し、授業改善につなげ、教職員の指導力と専門性の向上を目指す。

研究方法

①卒業までに身に付けさせたい情報活用能力の検討

生徒を療育手帳の区分をもとに4つのグループにわけ、グループごとに身に付けさせたい情報活用能力を検討した。

「ICT活用能力チェックシート」を用いて検討した。

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

療育手帳A-1の生徒にとっては、ICT機器の画面に自らタッチしたり、注目したり、自分で操作したことの満足感を得るなどの力が身についていくとよい。

ICT機器の利用については、触った感触や音などアナログな情報を得ることで理解につながる段階である。そのため、ICT機器の活用については、教師が使用場面を精選することが大切である

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

療育手帳A-2グループの生徒にとって、日常的に用いる日付や曜日などの情報を自ら得ることができることが大切である。そのために、自立活動や個別活動の指導で情報を集める能力を育てていく必要が得る実態である。

自分から発信、表現しようとする力や発信を受け止めて理解する力、指示や話を受け取る、収集する力が高まるとよい。

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

療育手帳B-Ⅰグループの生徒にとっては(4)、(5)が主になっているが、チェックシートの内容では(1)～(3)は大枠になっている。そのため、このグループではその部分をさらに整理して必要な情報活用能力について当てはめていく必要がある。

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

療育手帳B-2グループの生徒にとっては、(7)の段階が主になっている。

社会に出た後も情報機器を扱うことが増えることが予想される。そのため、ある程度発展的な内容についても理解して活用できるようになってほしい。

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

資料1

ICT活用能力実態チェックシート（第3版案）

山梨県教育委員会 特別支援教育・児童生徒支援課
令和4年4月初版（試作版） 令和5年3月第2版 令和6年〇月第3版

分類		0	1・2・3（必要に応じて各校で設定）	4（小低）	5（小低）	6（小中）	7（小中）	8（小高）	9（中）	10（高）	設定される学習内容
A 知識及び技能	(1) 情報技術に関する技能	①入力等	・画面をもって、画面に存在する。 ・画面にタッチしスワイプできる。 ・アプリケーションを使用して、画面を操作する。 ・IPadに機能を接続して、操作できる。 ・見分で使用画面を操作する。 ・検索方法が選択できる。	コンピュータの操作ができる。 ディスプレイとキーボードの違いが分かる。	コンピュータの起動や終了ができる。IPad、パスワードの入力ができる。（小低）	コンピュータを使って写真や動画を撮影、音声の記録、ゲームの読み取り等ができる。（小低）	自分にあった入力方法に切り替えることができる。（小中）	文字や画像などの切り取り、コピー、貼り付けなどの操作ができる。（小中）	自分に合った入力方法で、文字を入力できる。（目安：40文字以上/分） （小高） ・画像の拡大縮小、移動、コピー、削除など。（小高）	自分に合った入力方法で、文字を入力できる。（目安：80文字以上/分） （高） ・文字作成ソフトによるパンフレット等の作成がスムーズにできる。（高）	基本的な操作等 プログラミング
		②ファイル管理	教師の補助を受けながら、電子ファイルの呼び出し、保存ができる。	電子ファイルの呼び出し、保存がスムーズにできる。（小低）	電子ファイルの機能がわかる。（文書、画像、音楽、動画など）（小低）	電子ファイルの検索ができる。（小中）	電子ファイルのデータの大きさがわかる。	電子ファイル、フォルダの操作、管理ができる。（保存場所の適切な選択、移動、コピー、削除など）（小高）	電子ファイルの運用ができる（圧縮、パスワードによる暗号化、バックアップ等）（中）	電子ファイルの適切な運用ができる。（クラウドの活用や情報の取扱いなど）（高）	
		③アプリケーションの利用	教師の補助を受けながら、アプリケーションを操作することができる。自分のお気に入りのアプリケーションがある。	（イベント系）アプリケーションを選択・操作ができる。（小低）	学習支援アプリを選択・操作できる。（小低）	オフィス系アプリの選択・操作ができる。（小中）	画像編集アプリケーションの選択・操作ができる。（小中）	目的に応じたアプリケーションの選択・操作ができる。（小高）	目的に応じてアプリケーションを選択・操作することができる。（中）	目的に応じてアプリケーションの活用ができる。（高）	
		④情報検索	教師の補助を受けながら、インターネットを利用して検索できる。検索したい情報があり伝えることができる。	インターネット、検索アプリがわかる。（小低）	インターネット上の情報の閲覧ができる。（小低）	インターネット上の情報の閲覧やキーワード検索ができる。（小中）	知りたい情報（キーワード）を組み合わせて検索できる。（小中）	3D、VRなどの動画検索を用いた検索ができる。（小高）	目的に応じて適切な検索できる。クラウドを用いた連携作業ができる。（中）	目的に応じて適切な検索ができる。クラウドを用いた連携作業が効率的にできる。（高）	
		⑤情報・情報技術の特性と理解	自分の使用するコンピュータ（GIGA端末）がわかる。	GIGA端末を含めたコンピュータの存在を知っている。（小低）	コンピュータ（GIGA端末、ゲーム機等）がインターネットにつながっていることを知っている。（小低）	学校生活におけるコンピュータの活用について理解できる。（小中）	日常生活におけるコンピュータの活用について理解できる。（小中）	社会におけるコンピュータの活用について理解できる。（小高）	社会におけるコンピュータやクラウドなどの情報通信ネットワークの活用について理解できる。（中）	社会におけるコンピュータやクラウドなどの情報通信ネットワークの活用についての科学的な理解ができる。（高）	
		⑥記号の組み合わせの理解	事象について、「最初～、次に～、最後に～」などの言葉をを用いて、説明することができる。	事象の分解と組み合わせができる。（小低）	手順を提示し、ごく簡単なプログラムを操作できる。（小低）	表示（フローチャートなど）による単純な手順（アルゴリズム）の表現ができる。（小中）	単純な手順と条件分岐、ループなどの表現ができる。（小中）	単純な手順と条件分岐、ループなどの表現ができる。（小中）	単純な手順と条件分岐、ループなどの表現ができる。（小中）	単純な手順と条件分岐、ループなどの表現ができる。（小中）	
	(2) 問題解決の方法の理解	①情報収集	身近な物事へ関心を持つことができる。身近なことから簡単な情報を収集しようとする。教師の補助を得ながら、情報を収集することができる。	身近なところから簡単にアクセスできる情報を収集できる。（小低）	メディアの情報は、伝えたいことや伝えたい方法があることを知っている。（小低）	調査や資料等による基本的な情報の収集することができる。（小中）	メディア等の情報は、伝えたいことや伝えたい方法があることを知っている。（小中）	調査や資料等による基本的な情報の収集ができる。（小中）	調査や資料等による基本的な情報の収集ができる。（小中）	調査や資料等による基本的な情報の収集ができる。（小中）	問題解決・探究における情報活用
		②整理・分析・表現	簡単な絵や図の数を数えることができる。簡単な絵や図を比較し数えたり、作図しめたりできる。（分組）	簡単な絵や図の数を数えることができる。（小低）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小低）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小中）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小中）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小中）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小中）	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。（小中）	
		③発信	相手に伝えたい内容をもつ。	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小低）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小低）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小中）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小中）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小中）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小中）	相手に伝えたい内容をもち、相手に伝えることができる。（小中）	
		⑤情報活用計画・評価・改善	どの情報を活用するか選べる。次にどの情報を活用するか考えることができる。	情報を活用した計画に満足することができる。（小低）	情報を活用した計画に満足することができる。（小低）	情報を活用した計画に満足することができる。（小中）	情報を活用した計画に満足することができる。（小中）	情報を活用した計画に満足することができる。（小中）	情報を活用した計画に満足することができる。（小中）	情報を活用した計画に満足することができる。（小中）	
	(3) 情報モラルについて情報セキュリティ	①情報技術の役割・影響の理解		情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報社会での情報技術の活用（小中）	情報セキュリティ
		②対人（個人情報）	許可を得ず、他人を撮影してはいけないことを知っている。	人の作った物を大切にすることや他人に伝えるべきでないことを知っている。（小低）	人の情報（写真など）や作ったものを大切にすることや他人に伝えるべきでないことを知っている。（小低）	自分の情報や他人の情報の大切さを知っている。（小中）	自分の情報や他人の情報の大切さを知っている。（小中）	自分の情報や他人の情報の大切さを知っている。（小中）	自分の情報や他人の情報の大切さを知っている。（小中）	自分の情報や他人の情報の大切さを知っている。（小中）	
		③方法	インターネットにはよくないページもあることを知っている。コンピュータ（GIGA端末等）を使用して画面上にあった場合に削除することができる。	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小低） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小低）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小低） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小低）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小中） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小中）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小中） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小中）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小中） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小中）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小中） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小中）	コンピュータなどを利用する際の基本的なルール（小中） ・知らない情報や、不適切な情報などを見つけたときは、大人に伝える。（小中）	
		⑤健康・生活	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。利用による目の疲れなどの影響があることを知っている。	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小低）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小低）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小中）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小中）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小中）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小中）	GIGA端末などのメディアの利用時間など大人と相談することができる。（小中）	

「ICT活用能力チェックシート」より

①卒業までに身につけさせたい情報活用能力の検討

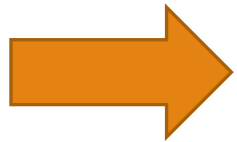
分類			0	1・2・3 (必要に応じて各校で設定)	4 (小低)	5 (小低)	6 (小中)	7 (小中)	8 (小高)	9 (中)	10 (高)	設定される学習内容	
B	思考・判断・表現	(1)問題解決・探究における情報活用する力を含む	①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	・入力した情報を修正し、変更する。 ・発信された（送られている）情報に気づく。 ・情報を活用し問題解決しようとする。 ・分かったことをメモする。	・新聞やパンフレットにまとめることができる。 ・写真や図をどこに入れるのか考え、新聞やパンフレットをつくること ・分かったことをメモする。	・身近なところから問題に関する様々な情報を収集することができる。（小低）	・調査や資料等から情報を収集し、要点を決めた要素を表やグラフ等に活用し整理することができる。（小中）	・比較したり、分類したり、関連付けたりしながら、情報を整理することができる。（小中）	・目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等と組み合わせながら情報収集することができる。また、目的や状況に応じて能動的に検索したり、比較・分類・関連付けなどを適切に選択・活用し、情報を整理することができる。（小高）	・分析の目的を踏まえて調査を設計し、情報収集・整理・編集することができる。また、目的や状況に応じて能動的に検索したり、比較・分類・関連付けなどを適切に選択・活用し、情報を整理することができる。（中）	・分析の目的を踏まえて調査を設計し、効果的に情報収集・編集することができる。また、目的や状況に応じて能動的に検索したり、比較・分類・関連付けなどを適切に選択・活用し、情報を整理することができる。（高）	問題解決・探究における情報活用	情報モラル・セキュリティ
			②新たな意味や価値を創造する力	・入力した文字や文書を抽出したり読んだりする。	・何の情報がどこに記述されているかを把握することができる。	・捉えた情報を、分解・整理し自分の言葉でまとめることができる。（小低）	・複数の情報を比較し、必要なものを選択することができる。（小低）	・情報を効果化などとして、具体的な情報や要素を捉えることができる。（小中）	・情報の傾向と変化を捉え、新たな考えや発見を見出すことができる。（小高）	・目的に応じ、情報や情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に関する多様な解決策を明らかにすることができる。（中）	・目的に応じ、情報や情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に関する多様な解決策を明らかにすることができる。（高）		
			③受け手の状況を踏まえて発信する力		・送る相手を知る。 ・目目してほしいことにマークなど工夫ができる。 ・アイコンタクトを意識することができる。	・相手に対して、わかりやすく表現する。（声の大きさ、間の取り方など） ・ICT機器の活用など。（小低）	・伝えたいことを相手に伝える。 ・理由や例などを挙げて話すことができる。（小低）	・自分の考えが伝わるように、資料を活用するなど表現を工夫することができる。（小中）	・表現方法を相手に合わせて伝え、相手の反応や理解を察し、必要に応じて効果的に表現する。（小高）	・目的や状況に応じて情報を効果的に活用し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する。（中）	・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、目的や状況に応じて適切な表現方法を選択・活用し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する。（高）		
			④自らの情報活用を評価・改善する力等		・情報を活用して問題解決できることに気づくことができる。 ・教師の指導や助言を受けながら、情報活用の良い点や課題点を見出すことができる。	・様々なメディア等から得られた情報を活用することが課題解決において大切な要素であることに気づくことができる。（小低）	・情報活用を振り返ることで、良い点、課題点に気づくことができる。（小低）	・自らの情報活用を振り返り、課題の組み合わせなどについて実行改善することができる。（小中）	・情報の組み合わせなどについて実行改善を効果的に実行することができる。（小高）	・情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を効果的に実行することができる。（中）	・情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を効果的に実行することができる。（高）		
C	学びに向かう力・人間性等	(1)問題解決・探究における情報活用	①多角的に情報を検討しようとする態度	・自分で操作して、達成感や満足感を得ることができる。	・知りたいことは自分の力で調べることができる。 ・必要な情報を見つけてよとする。	・インタビューやアンケートなどを活用し、事象と関係する情報を見つけてよとする。（小低） ・調べた情報に対していろいろな人の考えを聞くよとする。（小低）	・情報同士を比較したり、他の意見を聞いたりしながら新しいようにしている。（小低）	・事象のつながりや関係性を捉え、考察しようとする。（小中） ・新たな視点を受け入れて検討しようとする。（小中）	・事象を構造的に理解しようとする。（小高） ・事象を批判的に考察しようとする。（小高）	・事象を、情報とその結びつきから捉えようとする。（中） ・物事を批判的に考察し、判断しようとする。（中）	・事象を、情報とその結びつきから捉えようとする。（高） ・物事を批判的に考察し、判断しようとする。（高）	問題解決・探究における情報活用	情報モラル・セキュリティ
			②試行錯誤し、計画や改善をしようとする態度		・うまくいかないときに繰り返し取り組もうとする。	・問題解決における情報の大切さを意識して行動する。（小低）	・情報の活用を振り返り、改善点を見つけてよとする。（小低）	・目的に応じた情報活用を見出しを立てようとする。（小中） ・情報及び情報技術の活用を見出しを立てようとする。（小中）	・情報を効果的に活用し、改善点を見出しを立てようとする。（小高） ・情報及び情報技術の活用を見出しを立てようとする。（小高）	・条件を踏まえて情報活用を計画を立てようとする。（中） ・情報及び情報技術の活用を効果的に活用し改善しようとする。（中）	・条件を踏まえて情報及び情報技術の活用を計画を立てようとする。（高） ・情報及び情報技術の活用を効果的に活用し改善しようとする。（高）		
			①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度		・人の作った物を大切にし、勝手に発信してはいけない情報を守ろうとする。（小低） ・コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする。（小低）	・個人情報をネットワーク上に書き込まないようしたり、パスワードを他の人にわからないようなどにしている。（小低）	・情報の発信や情報のやりとりする機会（SNSなど）でメッセージや画像等のやりとりなどにもルール、マナーがあることを踏まえ、行動しようとする。（小中）	・自分の情報や他人の情報の取り扱いを踏まえ、尊重しようとする。（小中） ・情報の発信や情報のやりとりする機会（SNSなど）でメッセージや画像等のやりとりなどにもルール、マナーがあることを踏まえ、行動しようとする。（小中）	・情報に関する自分や相手の権利や責任を踏まえ、尊重しようとする。（小高） ・通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする。（小高） ・自分の情報や他人の情報の取り扱いを踏まえ、尊重しようとする。（小高） ・情報の発信や情報のやりとりする機会（SNSなど）でメッセージや画像等のやりとりなどにもルール、マナーがあることを踏まえ、行動しようとする。（小高）	・情報に関する個人の権利やその責任を尊重しようとする。（中） ・社会は互いにルールや法律を守ることによって成り立っていることを踏まえ、行動しようとする。（中） ・情報セキュリティの確保のための対策・対応の必要性を踏まえ行動しようとする。（中）	・情報に関する個人の権利やその責任を尊重しようとする。（高） ・社会は互いにルールや法律を守ることによって成り立っていることを踏まえ、行動しようとする。（高） ・情報セキュリティの確保の重要性を踏まえ適切に行動しようとする。（高）		
			②情報社会に参画しようとする態度		・学習では、コンピュータ、テレビ、タブレット等を使おうとしている。	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（小低）	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（小低）	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（小中）	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（小中）	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（中）	・情報や情報技術を適切に活用しようとする。（高）		

「ICT活用能力チェックシート」より

研究方法

②対象授業での検討

対象授業を「社会／自立活動」とした。



調べ学習や学習した内容の発表や共有
など情報活用能力の育成をねらう場面
の設定がしやすい。

②対象授業（社会／自立活動）での検討 ～自立活動グループ～

「季節を感じよう」



好きな場面でボタン
を押して写真を撮る

「家事に挑戦しよう」



- ・誰かが喜んでくれる
ことがわかること
- ・五感で感じた情報を
適切に処理すること

感覚を広げる、感覚を得る、
感覚を高める、人との関わりをも
つことを目標に設定した。

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～自立活動グループ～

ICT機器の利用について

教材として教師が用いることで、生徒に情報を示すためのツールとして有効活用できた

視覚的な情報を提示したい場合、活用は難しかったが、聴覚的な情報を提示する場合は有効であった

生徒に応じてICT機器の活用の仕方が変わる。
ICT機器の活用が有効であるかどうか検討する必要がある。

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Aグループ～

教科等	社会A	単元名	災害から自分の身を守ろう	指導時期 指導時数	2学期前半 9時間
単元 目標	知識及び技能		災害の種類によって取るべき行動が変わることがわかる。		
	思考力・判断力・表現力等		校内の非常持ち出し袋や避難経路等を確認し、防災グッズについて調べたり考えたりする。		
	学びに向かう力・人間性等		災害が危険であることを理解し、緊急時に適切な行動を取る態度を養う。		
情報活用 能力	知識・技能		どの情報を活用するか選ぶことができる。（1・2・3） 身近な物事へ関心をもつことができる。（1・2・3）		
	思考・判断・表現		話を聞いたり、写真等を見たりして情報を得る。（1・2・3） 入力した文字や文章を注目したり読んだりする、（0） うまくいかないときに繰り返し取り組もうとしている。（1・2・3）		
	学びに向かう力・人間性等				

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Aグループ～

生徒によって情報の提示の仕方を変えたことで、理解が深まったことを実感できた

提示方法や発問する順序などについては、他の強化でも活かすことができた

意思の発信に課題のある生徒が多いため、どのように情報を伝えるか、どのように発信させていくかは今後の課題である

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Cグループ～

教科等	社会C	単元名	自然災害と自分にできること	指導時期 指導時数	2 学期後半 7 時間
単元 目標	知識及び技能		身近な地域の自然災害について調べ、災害から身を守るための行動と災害から人々を守るための活動を知っている。		
	思考力・判断力・表現力等		地域のハザードマップから安全な場所や危険な場所を読み取り、場面ごとに、どこに避難するかを考え、グループや全体に共有している。		
	学びに向かう力・人間性等		調べたことを振り返り、災害時や現在に備えとして、自分や家族を守るために何ができるのかを考えようとしている。		
情報活用 能力	知識・技能		知りたい情報を組み合わせて検索できる。 効果的なプレゼンテーションの方法を知っている。		
	思考・判断・表現		情報をもとに意見を出すことができる。 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する。		
	学びに向かう力・人間性等		必要に応じて自分からタブレットなども活用しようとしている。		

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Cグループ～

様々な情報収集の手段を伝えたことで、生徒が自分に合った情報収集の方法を選ぶことができる

生徒にとって要点を絞って情報を得ることは難しかった

ICT機器を活用する機会を増やし、丁寧に情報活用能力についての実態把握を行う必要がある

②対象授業（社会／自立活動）での検討

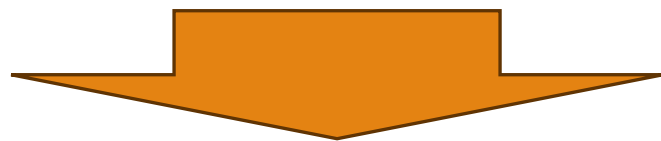
～社会Bグループ～

教科等	理科社会B	单元名	地域の安全を考えよう	指導時期 指導時数	2 学期 6 回
単元 目標	知識及び技能	地図の な場所	そのために…… まずは学習内容に関する正しい 知識を定着させる必要がある		時に危険
	思考力・判断力・表現力等	学校周 地図の			について、
	学びに向かう力・人間性等	地図を			り組む。
情報活用能力 情報活用能力	自分が得た情報を相手に わかりやすく伝える部分 に重点をおきたい	（5）	収集した情報を絵や図、写真などを用いてまとめる。（5）		）
	思考・判断・表現	提示された情報から、必要な情報を探し出す。（4）	調べたことを発表する。（4）		
	学びに向かう力・人間性等	調べるためのキーワードなどを自分で考えて情報を見つける。 （3）			

②対象授業（社会／自立活動）での検討 ～社会Bグループ～

(1) グーグルマップをもちいた地図の要素の理解

(2) ハザードマップ上の身近な災害を理解



(3) 身近な地域の危険な場所をまとめ、発表する

②対象授業（社会／自立活動）での検討 ～社会Bグループ～

（１）グーグルマップをもちいた地図の要素の確認



地図上の道路や線路、川や山などがどのように記されているのか分かった上でハザードマップの読み取りにつなげたい。

②対象授業（社会／自立活動）での検討

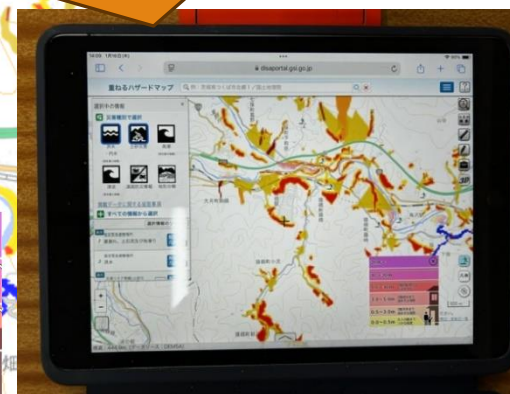
～社会Bグループ～

(2) ハザードマップ上の身近な災害を理解



情報収集はタブレット端末を用いた

- ・ 川の近くが洪水で危ない
 - ・ 山の近くが土砂災害で危ない
- といったことを読み取ってほしい



②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Bグループ～

近隣の避難所を知る

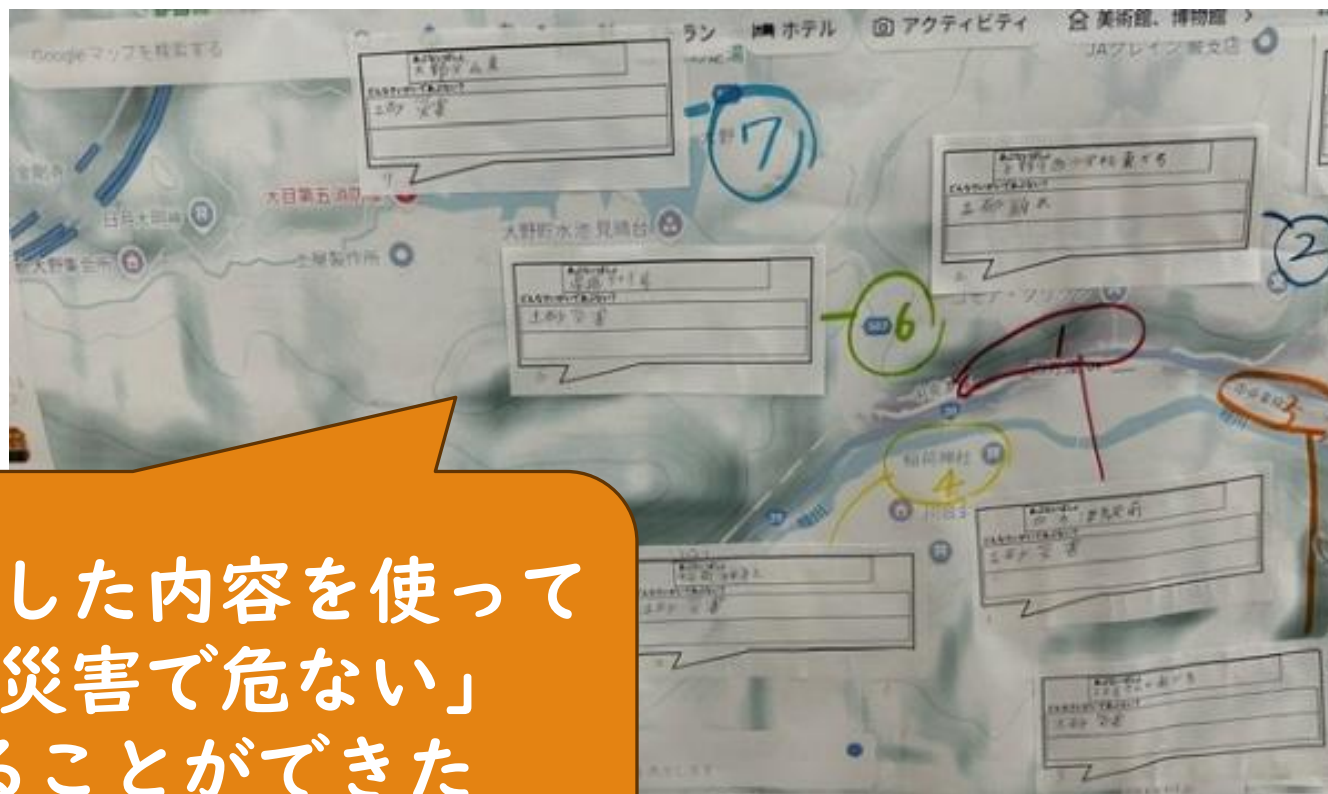


- ・避難所が安全な場所にあること
- ・自宅周辺の避難所を知っておいてほしい

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Bグループ～

（3）身近な地域の危険な場所をまとめ、発表する



まとめ作業は紙媒体で行った

ここまでで学習した内容を使って
「ここは土砂災害で危ない」
などまとめることができた

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Bグループ～

成果

ハザードマップ
を読み取ること
ができた



まとめて発表す
ることができた

②対象授業（社会／自立活動）での検討

～社会Bグループ～

課題

考える時間が
十分でなかった



実態把握が
十分でなかった

全体を通してのまとめ

情報活用能力の中で…

情報手段を適切に
用いて情報を
得る力

得られた情報を
分かりやすく
発信・伝達する力

ICT活用能力実態チェックシート

実践の中で整理が必要

ご清聴ありがとうございました

令和7年2月5日（水）

第3回全体研究会

高等部